未来はつくれる



もりやま　ゆうすけ
森山 裕介

島根県議会議員



次代に誇れる出雲（ふるさと）を、ともに

討議資料

島根の今　島根の担い手が、急激に減っている。

1 人口減少と少子化　生まれる子どもの数は、80年で10分の1に

島根県で1年に生まれる赤ちゃんの数

1947年
32,534人



2025年
3,339人



80年で10分の1

1947年に3万人を超えていた島根の出生数は、2025年には3,000人台。わずか80年で10分の1になりました。子どもの数は、そのまま20年後の支え手の数です。

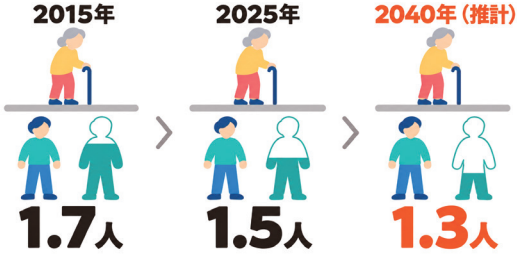
2 若者の人の流れ　高校を出た若者の6割が県外へ、戻るのは3割弱



高校を卒業した若者の6割が進学・就職で県外へ出て、島根に戻ってくるのは3割弱。帰ってきたい人に選ばれる<仕事・暮らし>をつくることが鍵です。

3 現役世代の減少　高齢者1人を、現役世代1.5人で支えている

高齢者1人を、何人の現役世代で支えているか



高齢者1人を支える現役世代は、この10年で1.7人から1.5人へ。支え手が減る前提で、医療・介護・交通・インフラの守り方を変える必要があります。

出典：島根県保健統計書・厚生労働省人口動態統計（概数）、島根県資料、国勢調査。数値は2026年10月時点。
①出典：島根県保健統計書（令和5年）、令和7年人口動態統計月報年計（概数・厚生労働省）。2025年は概数
③出典：国勢調査（2015年・2025年確定値）。現役世代＝15～64歳、高齢者＝65歳以上。2040年は国立社会保障・人口問題研究所の地域別推計から算出

私の想い

未来はつくれる



この4年間、地域を歩いて一番感じたのは、次の世代にバトンを渡したくても渡せない「担い手不足」の現状です。農業・漁業・建設業・医療福祉・保育/教育などあらゆる現場で先人たちがつないできたバトンを受け取る人がいない。それに起因する地域の活力の衰退。

それこそが、島根の最も大きな課題である。

それでも、島根には、豊かな自然と育まれてきた暮らしがあり、この地に根ざした世界に誇れる文化・歴史がある。そして何より、派手さはなくても、輝く大人の背中がある。

課題はあげればキリがない。ないものを嘆き、現状を悲観し諦めるのは簡単だ。

意志あるところに道は開ける。この地域に暮らす一人ひとりの願いと問題意識の裏にある"意志"を集めたい。

そして、未来への意志を持ち寄って、成り行きの未来に立ち向かいたい。

民間だけでなく、行政だけでもなく、政治だけでもなく、一人ひとりの想いと行動がこの地域の未来を変えていけると私は信じています。

50年後、100年後振り返ったときに子どもたちに伝えたい。**「未来は、つくれる」**んだと。すべては、次の世代の子どもたちのために。

わたしは、みなさんと共につくりたい"未来"がある。そのために意志を持って動き続けます。

森山 裕介

私の政治理念

現場主義・対話主義・未来志向

現場主義

現場にしか答えはない。現場最前線で集めた声を政治の場に届ける

対話主義

政治は、対話。皆で知恵を持ち寄り、最適解を更新し続ける

未来志向

次世代に何を残すのか、創りたい未来からはじめる

次の4年で前に進める 8つの政策

8つの分野で、つくりたい未来と進めたい政策をお示しします。**4年間の実績**はホームページでご覧いただけます（7ページのQR）。

妊娠・出産・子育て

01 子育て世代を本気で応援！

産みたい、育てたいを、あきらめない！



「子どもはほしいけれど治療費が重い」「働きながら育てたいのに預け先がない」。身近な友人の切実な声が出発点です。産みたい、育てたいという当たり前の願いを、お金や距離であきらめない島根にします。

進めたい政策

1. **不妊治療への支援**
   経済的・地理的な負担を減らし、子どもを望む人を支える
2. **産前・産後ケアと病児保育の充実**
   出産前後の不安を減らし、働きながら育てられる環境をつくる
3. **放課後児童クラブの充実**
   待機をなくし、小学生になっても安心して預けられる環境を整える
4. **乳幼児教育の人材確保と処遇改善**
   先生が誇りを持って働ける環境づくりを進めます



教育

02 すべての子どもたちに

未来が信じられる学びと居場所を！



現場で不登校の子どもたちと向き合ってきました。学校に行けないことは、学びをやめることではありません。どの子にも、学べる場所と、信じられる大人がいる島根に。

進めたい政策

1. **個別最適な学び・不登校の子どもたちの支援**
   学校の中と外に、安心して学び続けられる選択肢を増やす
2. **先生が子どもと向き合う時間と余白を取り戻す**
   働き方改革と学校のDXを通じて、先生の負担を減らし、子どもと向き合う時間を増やす
3. **ふるさと教育・しまね留学の推進**
   地域・社会に開かれた学校づくりを後押しし、県内外から選ばれる教育環境をつくる



農林水産業

03 食を支える人が、報われる農業・漁業に！



学生時代、新潟で米づくりを地域のみなさんとしていました。
食を支える人が、価格と担い手の不安で続けられないのはおかしい。
つくる人が報われる一次産業にします。

進めたい政策

1. **再生産できる農業環境の実現**
   続けられる米価と農地整備の財源を国に求める
2. **担い手の確保**
   集落営農・新規就農を支え、農地と漁場を次の世代へつなぐ
3. **鳥獣被害対策の強化**
   捕獲の担い手と処理の仕組みを整え、田畑を守る



産業・観光振興

04 中小企業を元気に！力強い産業をつくる



島根の雇用の多くを担うのは中小企業です。この4年、「人が採れない」「後を継ぐ人がいない」という経営者の声を何度も聞きました。経営の体力と担い手の確保は切り離せません。会社が強くなり、若者が働きたいと思える出雲にします。

進めたい政策

1. **中小企業の経営力強化と人材確保**
   採用・インターンシップの支援と専門人材・副業人材を通じて中小企業の経営を後押しします
2. **事業承継の支援**
   後継者のいない会社と帰ってくる若者をつなぎ、地域の雇用を守る
3. **企業誘致・UIターンと関係人口の推進**
   若者に選ばれる企業の選択肢を増やし、
   若者の取り戻しと多様な新たな関わりをつくる
4. **観光振興と出雲空港の機能強化**
   広域観光の推進と空港の利便性向上で、人と仕事を呼び込む



医療・福祉

05 最期まで安心の医療・福祉の環境を！



知的障がいのある叔母と暮らした経験が、私の原点です。
障がいがあっても、身寄りがなくても、最期まで本人の意思が尊重される。
支える人を支える仕組みをつくります。

進めたい政策

1. **医療・介護の現場を支える**
   働く人の処遇改善と、地域の病院・介護施設の安定した運営を後押しし、必要なときに必要な医療を受けられる体制を守る
2. **訪問看護・訪問介護体制の充実**
   住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる体制をつくる
3. **誰もが障がいを感じない社会をつくる**
   制度や環境の壁を取り除き、誰もが自分らしく暮らし続けられる地域を整える



住まいと暮らし

06 中山間地域の豊かな暮らしを守る！



中山間地域には、都会にはない豊かな暮らしがあります。一方で、空き家が増え、バスが減り、農地を守る人が減っている現実も見てきました。この豊かさを「不便」で終わらせない。住み続けられる、帰ってこられる中山間地域にします。

進めたい政策

1. **空き家対策の強化**
   県と市で連携し、空き家を地域の資源として生かす
2. **地域交通の維持**
   通院・買い物の足を守り、車がなくても暮らせる環境を整える
3. **中山間地域を支える制度の充実**
   農地と集落を守る直接支払いなどの仕組みを、現場の実情に合う形に国へ働きかける



防災・減災・国土強靭化

07 災害から暮らしを守るインフラ整備！



今市町の火災、出雲市街地の浸水被害、日御碕の孤立。現場に立って分かったのは、守り手がいてこそ地域は守れるということです。道と川と、その担い手を支えます。

進めたい政策

1. **河川の整備と浸水対策**
   河川整備と市街地の排水対策をあわせて進め、浸からないまちづくりを進める
2. **災害からの復興と備え**
   火災・水害・土砂災害からの復興を最後まで支え、避難所や備蓄など日頃の備えを整える
3. **暮らしと産業を支えるインフラ整備**
   通学路の安全確保から幹線道路の渋滞解消まで、暮らしと物流をつなぐ道を整える



新しい行政・政治へのアップデート

08 未来志向の政治へアップデート！



「政治は自分とは関係ない」と思っている人をも振り向かせる政治を進めたい。島根・出雲の今をわかりやすく伝え、未来志向の政治に変えます。

進めたい政策

1. **政治の見える化と情報発信**
   複雑な課題をわかりやすく伝え、政治を身近なものにする
2. **若者が参加できる政治**
   若者の声を県政に届ける仕組みと主権者教育を進める
3. **AI・テクノロジーの社会実装**
   行政・教育・介護・農業の現場にAIを生かし、人にしかできない仕事に集中できる環境を



4年間の実績はこちら

QRコードからホームページへ。分野ごとの実績を詳しくご覧いただけます。

プロフィール



森山 裕介

（もりやま ゆうすけ）

1990年3月12日、出雲市今市町生まれ

座右の銘

稽古照今
意志あるところに道は開ける

学歴		今市幼稚園、今市小学校、出雲一中、出雲高校、中央大学商学部卒業
職歴	2013年	人材育成・組織変革支援のコンサルティング会社（東京）
	2016年	島根へUターン。認定NPO法人カタリバ・(一財)地域・教育魅力化プラットフォームで不登校支援・島根の未来をつくる人材育成・若者のUIターン支援
	2023年4月	島根県議会議員初当選（現在１期目）
役職		島根県サッカー協会特任理事、島根県特別支援教育振興会副会長、島根県幼稚園・こども園教育振興会副会長
家族		妻と娘（4歳）
趣味		サッカー、サウナ、旅行、子どもと遊ぶ

森山裕介事務所

〒693-0008 出雲市駅南町3丁目14-6-1
TEL 0853-24-2035　FAX 0853-22-4136



ホームページはコチラ

公式LINE・各種SNSはコチラ

公式 LINE・各種 SNS を通じて、島根・出雲の現状・私の問題意識を発信し、皆様のご質問・ご要望にお応えします。いつでも声をお寄せください。

森山裕介後援会のご入会について

ご入会は付属の申込書、またはこちらのHPよりお申し込みください。